

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年2月8日
【四半期会計期間】	第131期第3四半期(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
【会社名】	Biofermin製薬株式会社
【英訳名】	BIOFERMIN PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤本 孝明
【本店の所在の場所】	神戸市長田区三番町五丁目5番地
【電話番号】	(078) 575－5501 代表
【事務連絡者氏名】	総務部長 松本 剛
【最寄りの連絡場所】	神戸市長田区三番町五丁目5番地
【電話番号】	(078) 575－5501 代表
【事務連絡者氏名】	総務部長 松本 剛
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第130期 第3四半期累計期間	第131期 第3四半期累計期間	第130期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	7,151,237	8,111,713	9,666,222
経常利益 (千円)	1,897,614	2,342,353	2,326,434
四半期(当期)純利益 (千円)	1,302,767	1,632,929	1,589,635
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	1,227,000	1,227,000	1,227,000
発行済株式総数 (千株)	12,154	12,154	12,154
純資産額 (千円)	24,219,319	25,185,018	24,248,485
総資産額 (千円)	26,834,533	28,039,555	26,989,017
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	109.08	136.73	133.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	109.04	136.54	133.03
1株当たり配当額 (円)	30.00	30.00	60.00
自己資本比率 (%)	90.2	89.7	89.8

回次	第130期 第3四半期会計期間	第131期 第3四半期会計期間
会計期間	自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.06	59.18

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資損益を記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社及び親会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期累計期間の売上高は、主力製品である「新ジオフェルミンS」が49億6千5百万円（前年同四半期比11.2%の増加）となり、医薬品を含めた一般用製品全体で52億8百万円（前年同四半期比10.8%の増加）、医療用医薬品全体では26億2千4百万円（前年同四半期比19.0%の増加）となりました。

食品原料を含めた売上高全体では、81億1千1百万円（前年同四半期比13.4%の増加）となり、営業利益が22億8千2百万円（前年同四半期比23.9%の増加）、経常利益が23億4千2百万円（前年同四半期比23.4%の増加）、四半期純利益は16億3千2百万円（前年同四半期比25.3%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前事業年度末に比べて10億5千万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、280億3千9百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金や売掛金の増加が要因となり、前事業年度末に比べて14億4百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、160億4千万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の減価償却による減少があったこと等により、前事業年度末に比べて3億5千3百万円減少し、当第3四半期会計期間末における残高は、119億9千9百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べて1億1千4百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、28億5千4百万円となりました。

純資産は、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べて9億3千6百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、251億8千5百万円となり、自己資本比率は89.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は、206,310千円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年2月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,154,000	12,154,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	12,154,000	12,154,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年12月31日	—	12,154	—	1,227,000	—	734,457

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成28年9月30日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 211,500	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,929,000	119,290	—
単元未満株式	普通株式 13,500	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	12,154,000	—	—
総株主の議決権	—	119,290	—

(注) 1 「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式19株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

② 【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ビオフェルミン製薬 株式会社	神戸市長田区三番町 五丁目5番地	211,500	—	211,500	1.7
計	—	211,500	—	211,500	1.7

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,484,292	11,479,425
売掛金	2,833,063	3,266,589
製品	411,325	376,786
仕掛品	669,407	651,350
原材料及び貯蔵品	92,430	135,035
繰延税金資産	99,080	99,080
その他	46,623	32,271
流動資産合計	14,636,224	16,040,538
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,935,532	8,694,111
減価償却累計額	△4,404,359	△4,618,608
建物（純額）	3,531,172	4,075,502
構築物	255,967	277,500
減価償却累計額	△211,095	△218,013
構築物（純額）	44,872	59,486
機械及び装置	9,253,452	9,362,923
減価償却累計額	△6,620,300	△7,132,611
機械及び装置（純額）	2,633,152	2,230,311
車両運搬具	11,372	16,582
減価償却累計額	△11,113	△11,418
車両運搬具（純額）	258	5,163
工具、器具及び備品	664,024	689,627
減価償却累計額	△612,986	△621,075
工具、器具及び備品（純額）	51,037	68,551
土地	3,338,574	3,338,574
建設仮勘定	516,170	-
有形固定資産合計	10,115,238	9,777,590
無形固定資産	113,269	101,783
投資その他の資産		
投資有価証券	2,100,946	2,100,543
従業員に対する長期貸付金	3,510	4,670
その他	19,829	14,429
投資その他の資産合計	2,124,286	2,119,643
固定資産合計	12,352,793	11,999,017
資産合計	26,989,017	28,039,555

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,048	40,481
未払金	1,022,345	943,566
未払法人税等	202,456	388,772
預り金	10,860	78,620
販売促進引当金	90,000	51,000
賞与引当金	149,806	88,057
流動負債合計	1,507,517	1,590,497
固定負債		
繰延税金負債	842,434	842,310
退職給付引当金	323,021	356,006
その他	67,558	65,721
固定負債合計	1,233,014	1,264,038
負債合計	2,740,532	2,854,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,000	1,227,000
資本剰余金	752,676	752,676
利益剰余金	21,466,389	22,382,768
自己株式	△320,748	△320,867
株主資本合計	23,125,317	24,041,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,097,551	1,097,271
評価・換算差額等合計	1,097,551	1,097,271
新株予約権	25,616	46,169
純資産合計	24,248,485	25,185,018
負債純資産合計	26,989,017	28,039,555

(2) 【四半期損益計算書】
 【第3四半期累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	7,151,237	8,111,713
売上原価	2,706,241	2,963,662
売上総利益	4,444,996	5,148,051
販売費及び一般管理費		
販売促進費	238,288	305,066
販売促進引当金繰入額	46,000	51,000
発送費	35,690	46,011
広告宣伝費	1,450,583	1,490,229
役員報酬	122,430	132,300
給料及び手当	292,375	324,195
賞与引当金繰入額	29,977	36,344
退職給付費用	12,504	14,071
福利厚生費	40,518	47,975
株式報酬費用	25,616	20,553
減価償却費	14,362	25,806
研究開発費	179,333	206,310
その他	114,990	166,007
販売費及び一般管理費合計	2,602,669	2,865,871
営業利益	1,842,326	2,282,179
営業外収益		
受取利息	3,101	730
受取配当金	66,659	66,745
雑収入	12,629	9,031
営業外収益合計	82,391	76,507
営業外費用		
寄付金	4,253	6,853
固定資産除却損	1,642	1,636
たな卸資産廃棄損	20,054	5,466
雑損失	1,153	2,377
営業外費用合計	27,103	16,334
経常利益	1,897,614	2,342,353
特別利益		
固定資産売却益	27,698	-
特別利益合計	27,698	-
税引前四半期純利益	1,925,312	2,342,353
法人税等	622,545	709,423
四半期純利益	1,302,767	1,632,929

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ16,952千円増加しております。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
税金費用の計算 当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
減価償却費	936,634千円	811,743千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月11日 取締役会	普通株式	358,284	30	平成27年3月31日	平成27年6月25日	利益剰余金
平成27年10月28日 取締役会	普通株式	358,279	30	平成27年9月30日	平成27年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	358,275	30	平成28年3月31日	平成28年6月29日	利益剰余金
平成28年10月28日 取締役会	普通株式	358,274	30	平成28年9月30日	平成28年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社がありませんので、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社は単一セグメント(医薬品製造業)であるため、セグメント情報につきましては記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

当社は単一セグメント(医薬品製造業)であるため、セグメント情報につきましては記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	109円08銭	136円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,302,767	1,632,929
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,302,767	1,632,929
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,942	11,942
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	109円04銭	136円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	5	16
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第131期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)中間配当については、平成28年10月28日開催の取締役会において、平成28年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次の通り中間配当を行うことを決議し、中間配当を行いました。

- | | |
|----------------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 358,274千円 |
| ② 1株当たりの配当金 | 30円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成28年12月9日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年2月6日

バイオフェルミン製薬株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 村 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 児 玉 秀 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているバイオフェルミン製薬株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第131期事業年度の第3四半期会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、バイオフェルミン製薬株式会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。